



PERO'S

ステーション

第80期 第2四半期のご報告

(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

MAZINGER **Z**
マジンガー
INFINITY

東映アニメーション株式会社

株主の皆様へ

スタッフ一丸となり、
本格稼働する
新・大泉スタジオから、
世界に誇れる作品の創出を
目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素は格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

上期としては、売上高と全ての利益で 過去最高額を記録

当第2四半期は、国内外でアプリゲーム「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」を中心としたゲーム化権や中国向けの複数作品をはじめとした映像配信権の販売が好調に推移したことから、売上高と全ての利益で過去最高を達成しました。特に、利益率の高い海外事業や著作権事業の拡大および為替の影響により、全ての利益において大幅な増益となりました。

下期につきましては、引き続き国内外でアプリゲーム化権や映像配信権の販売による収益の安定・拡大を図るとともに、欧州先行公開の「劇場版 マジンガーZ/INFINITY」、[ドラゴンボール]シリーズの欧米向



代表取締役社長
高木 勝裕

け玩具展開、「ワンピース」のアジア向けショップ・催事展開等、多方面で海外展開を積極的に進めてまいります。

新・大泉スタジオの本格稼働に向けて

新・大泉スタジオが平成29年8月に竣工し、平成30年1月から本格稼働します。最新鋭・最高水準の製作環境を整え、製作スケジュールの適正化やプロセ



新・大泉スタジオ

平成29年度(第80期)

連結業績予想

(平成29年7月28日発表)

(百万円)

売上高 38,000

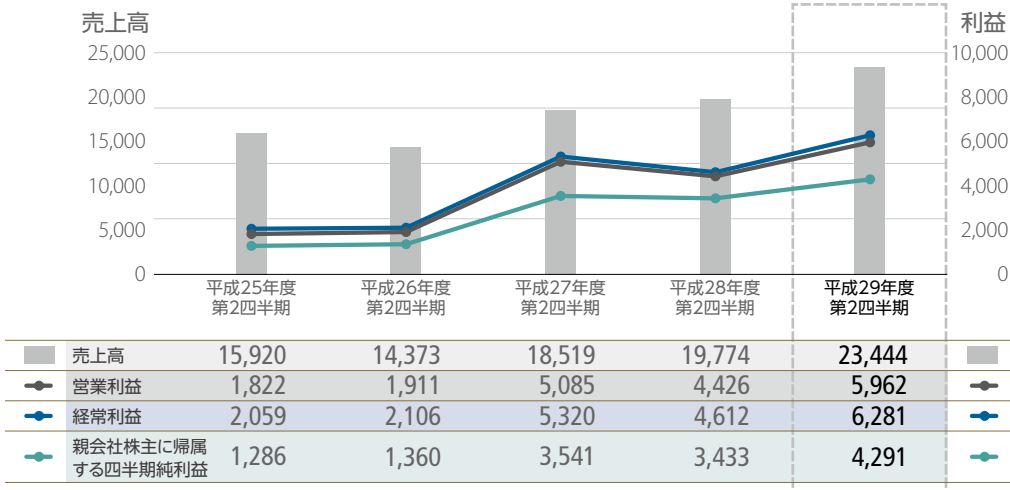
営業利益 9,100

経常利益 9,400

親会社株主に
帰属する
当期純利益 6,300

第2四半期実績推移(連結)

(百万円)



スの見直しを進めることで、高いクオリティーを維持しながらさらなる生産性の向上を目指してまいります。また、現在積極的に取り組んでいる「働き方改革」については、従業員のワーク・ライフ・バランスの充実に向けて昼型勤務推進や雇用形態の多様化等の具体的な施策を進めております。従来の業界特有の慣習を変えることをチャンスと捉え、業界No.1企業として、製作環境や働き方含め他社が真似できない強固な製作体制を構築してまいります。

多様なメディア展開を見据えた企画開発

足もとの業績は好調に推移していますが、当社を取り巻く環境の変化は著しく、そのような変化へ対応するために、従来のテレビをメインとした企画に加えて、今後は映画、映像配信、ゲームなど多様なメディア展開を見据えた企画開発にも注力してまいります。テレビ放映に加えてAmazonプライムでの映像配信

も行った「正解するカド」、海外先行公開の「劇場版 マジンガーZ/INFINITY」、全世界向けのNetflixによるオリジナル企画「聖闘士星矢」などのほか、幅広いメディア向けの企画を準備しております。

スタッフ一丸となり、本格稼動する新・大泉スタジオから、世界に誇れる作品の創出を目指してまいりますので、ご期待ください。

株主の皆様におかれましては、今後ともいっそうのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月

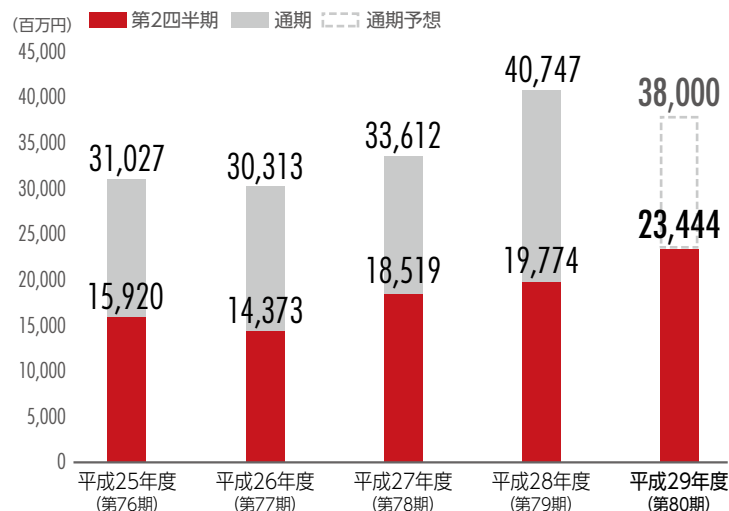
代表取締役社長 高木 勝裕

決算のご報告 平成29年4月1日～9月30日 (第80期第2四半期)

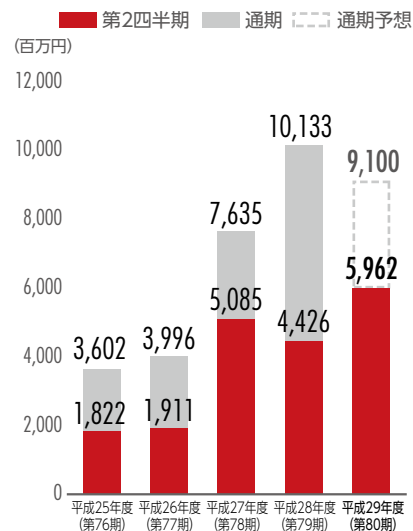
当第2四半期は、国内外で『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』をはじめとするアプリゲーム化権や映像配信権の販売が好調に推移したことから増収となり、売上高は第2四半期としての歴代最高を更新しました。また、収益性の高い著作権事業や海外の映像販売事業が大幅に増収となったこと等から、全ての利益においても過去最高額を記録しました。

通期の連結業績予想達成に向け、足もとは順調に推移しております。

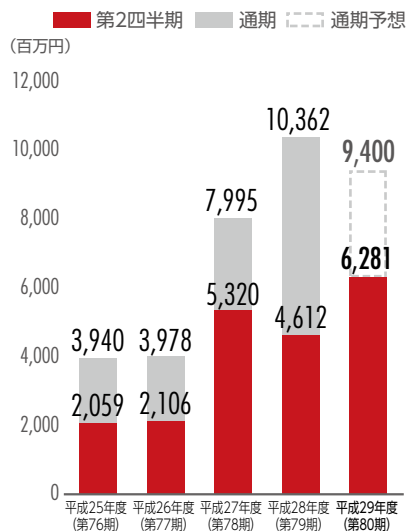
連結売上高



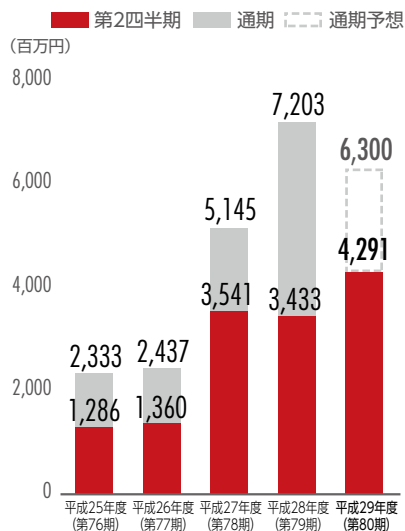
連結営業利益



連結経常利益



親会社株主に帰属する連結四半期(当期)純利益



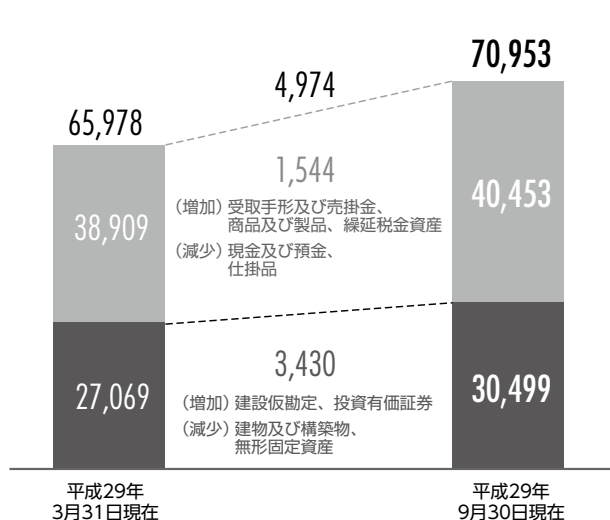
四半期連結貸借対照表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

(百万円)

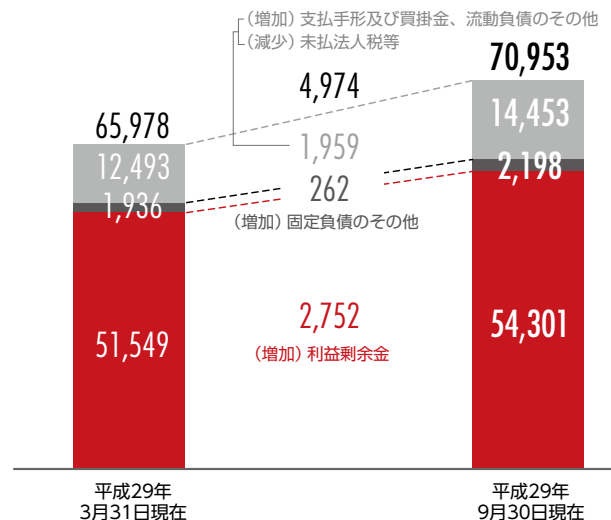
■ 流動資産 ■ 固定資産



負債・純資産の部

(百万円)

■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



POINT

引き続き安定した財政状態を維持しております。総資産は前期末より7.5%増加し709億53百万円、純資産は5.3%増加し543億1百万円、自己資本比率は76.5%と高い水準となっています。

配当

当社は継続的かつ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績等を総合的に勘案して、配当を決定しております。

配当性向は連結業績に応じて25%程度を基本としており、平成30年3月期は期首の予想利益をもとに一株当たり年間80円としています。

今後の配当予想の変更につきましては、連結業績等を勘案した上で別途検討する予定です。

詳細な財務情報のご案内 【IR情報】

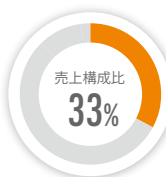
当社ホームページの「IR情報」に各種資料を掲載しています。

<http://corp.toei-anim.co.jp/ir/>

事業セグメントの状況

映像製作・販売事業

テレビアニメや劇場アニメ等を企画・製作し、テレビや劇場、DVD、ブルーレイ、インターネット、携帯端末等、さまざまなメディアで展開しています。



売上高

76億67百万円



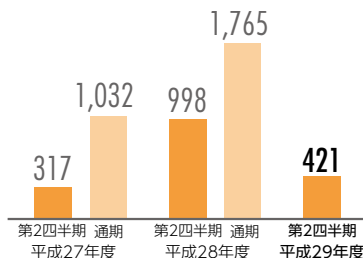
「劇場アニメ部門」

売上高

4億21百万円

平成29年3月に「映画プリキュアドリームスターズ!」、9月に「デジモンアドベンチャーtri.(トライ) 第5章」を公開しました。前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のヒットに相当するものがなかったことから、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

売上高推移(百万円)



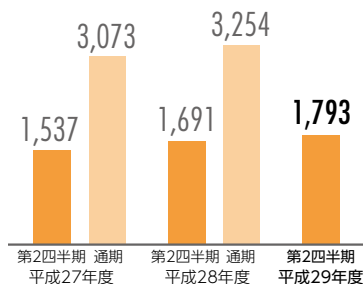
「テレビアニメ部門」

売上高

17億93百万円

「ワンピース」、「デジモンユニバース アプリモンスターズ」、「キラキラ☆プリキュアアラモード」、「ドラゴンボール超」、「正解するカド」、「タイガーマスクW」の6作品を放映しました。前年同期に比べ放映本数が増えたことから、増収となりました。

売上高推移(百万円)



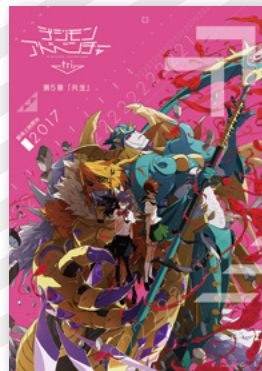
Major Lineup

〈劇場アニメ〉



平成29年
3月18日公開

「映画プリキュアドリームスターズ!」



平成29年
9月30日公開

「デジモンアドベンチャーtri.(トライ) 第5章」

〈新作テレビアニメ〉

平成29年
4月～7月



「正解するカド」

Major Lineup

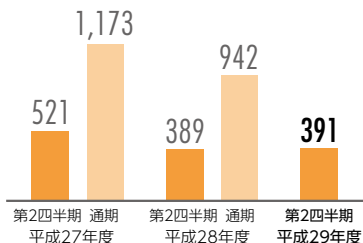
「コンテンツ部門」

売上高

3億91百万円

コンテンツ部門では、「美少女戦士セーラームーンCrystal」のブルーレイ・DVDの売上があったものの、映像パッケージの販売が全体的に軟調に推移したことから、ほぼ横ばいとなりました。

売上高推移(百万円)



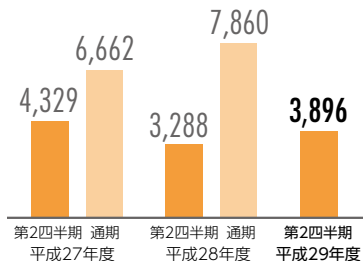
「海外映像部門」

売上高

38億96百万円

中国向けに複数作品の映像配信権、北米向けに「ドラゴンボール」シリーズ等の映像配信権の販売が好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

売上高推移(百万円)



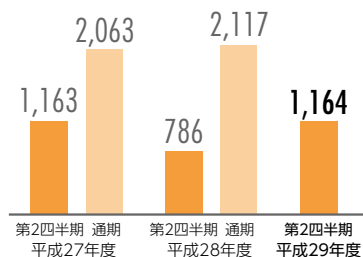
「その他部門」

売上高

11億64百万円

定額映像配信市場の拡大もあり、映像配信権の販売が好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

売上高推移(百万円)



ブルーレイ
「デジモン
アドベンチャー
tri. (トライ) 第4章」



ブルーレイ
「映画プリキュア
ドリームスターズ！」



ブルーレイ
「セーラームーンCrystal」



中国動画配信サイト
「IQIYI」



北米版ポスター
「ドラゴンボールZ
復活の「F」」



スマホゲーム
「聖闘士星矢
ギャラクシースピリッツ」

映像配信サイト
「Netflix」



事業セグメントの状況

著作権事業

テレビ放映や劇場公開等と連動して、作品に登場するキャラクターを使用した玩具やゲーム・衣類・文具・食品等の商品を作る権利を、各メーカーに許諾しています。



売上高

130億19百万円



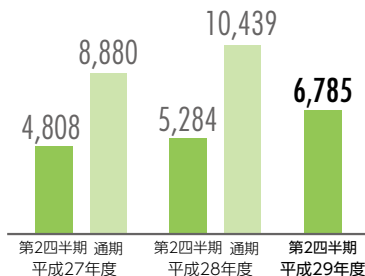
「国内著作権部門」

売上高

67億85百万円

アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』が前年同期よりさらに好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

売上高推移 (百万円)



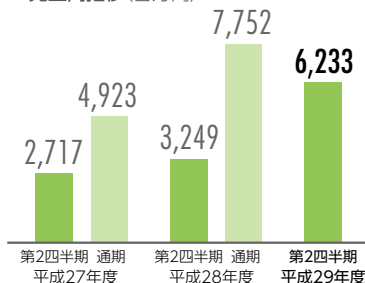
「海外著作権部門」

売上高

62億33百万円

全世界でアプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』に加え、北米向け家庭用ゲーム『ドラゴンボール ゼノバース2』の販売も好調に推移したことから、大幅な増収となりました。

売上高推移 (百万円)



Major Lineup



「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、
「キラキラ☆プリキュアアラモード」、「美少女戦士セーラームーン」シリーズ
国内展開商品



「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「聖闘士星矢」シリーズ、
「美少女戦士セーラームーン」シリーズ、「Dr. スランプ アラレちゃん」
海外展開商品

商品販売事業

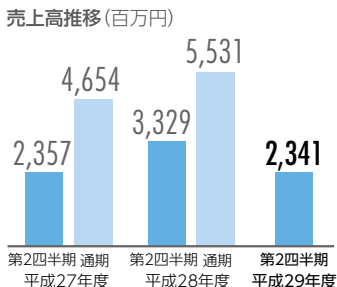
著作権事業とは別に、当社自ら商品を開発・販売しています。またイベントや店舗での直接販売もしています。



売上高 **23億41** 百万円

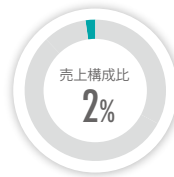


前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のタイアップ・キャンペーンに相当するものがなく、減収となりました。



その他事業

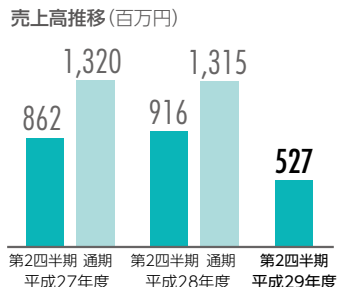
催事やキャラクターショー、ミュージカル等のイベントの企画・運営を行っています。



売上高 **5億27** 百万円



催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。前年同期にあった「聖闘士星矢」の催事関連に相当するものがなかったことに加え、「ワンピース」が前年同期に比べ軟調に推移したことから、減収となりました。



Major Lineup

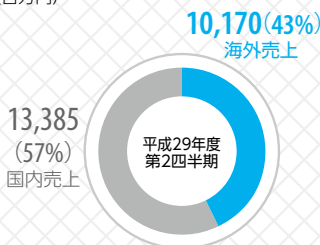


Major Lineup

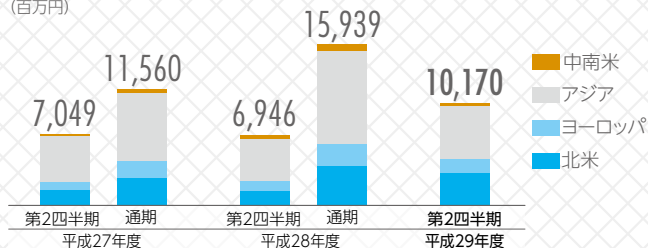


海外での事業展開

国内・海外売上高構成比
(百万円)



海外地域別売上高推移
(百万円)



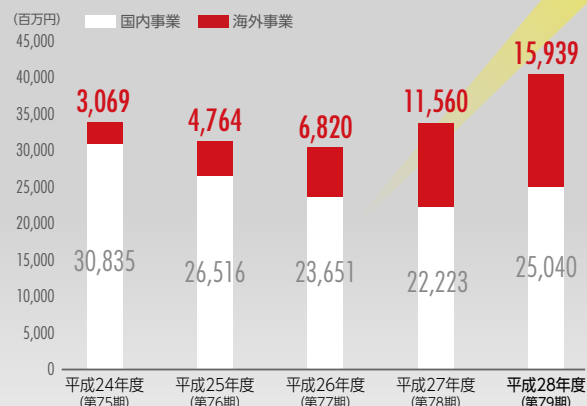
※セグメント間取引額を含んでおります。

当社の海外マーケット向け 作品展開！

国内アニメ市場の成長には限界が見られる中、海外市場には成長の余地が十分残されています。

こうした外部環境の中、当社はさらなる成長のために海外市場に向けた作品の展開を積極的に行う予定です。今回は、当社が行っている海外向けの作品展開の一部をご紹介します。

国内／海外売上高推移



Netflixオリジナルシリーズ 「Knights of the Zodiac: 聖闘士星矢 (仮)」全世界配信決定！



車田正美原作「聖闘士星矢」をCGアニメーションで完全リメイクし、Netflixオリジナルシリーズとして全世界で配信することが決定しました。第1シーズンは「銀河戦争 (ギャラクシアンウォーズ) 篇」から「白銀聖闘士 (シルバーセイント) 篇」までが描かれます。

「劇場版 マジンガーZ／INFINITY」 海外先行公開！

日本公開(平成30年1月13日)に先駆け、イタリアで平成29年10月31日、フランスで11月22日に劇場公開されました。

また、「ローマ国際映画祭」の公式招待作品に選定され、平成29年10月28日の特別上映で世界最速公開されました。



MAZINGER Z

マジンガー
INFINITY

プロデューサーインタビュー

海外先行公開された「劇場版 マジンガーZ／INFINITY」における海外興行の取り組みについて紹介します。

映像企画部 プロデューサー 金丸 裕

公開情報：イタリア 平成29年10月31日 公開
フランス 平成29年11月22日 公開
日本 平成30年1月13日 公開予定

Q1 なぜ今回「マジンガーZ」が復活することになったのでしょうか。

私が所属する映像企画部は、国内だけではなく海外展開も見据えた作品・企画づくりを目指し創設されたのですが、海外でも人気がある「マジンガーZ」の企画は創設当時からありました。そして、平成29年、原作者である永井豪先生の画業50周年というタイミングで復活が決定しました。

Q2 なぜ海外先行公開が決定したのでしょうか。

これまで当社は、「キャプテンハーロック」や「聖闘士星矢 LEGEND of SANCTUARY」等で海外興行のノウハウを培ってきました。

また、「マジンガーZ」について欧州でマーケティング調査した結果、イタリア・スペイン・フランスで非常に高い人気があることが分かりました。これは、過去のテレビシリーズが日本での放映後欧州でも放映されていたことが影響しているようです。

これらの点を踏まえ、当社の新たなチャレンジとして欧州での先行公開が決まりました。

Q3 海外先行公開の決定に伴い、公開が決定した現地の反応はいかがでしょう。

平成29年6月にフランスで行われたアヌシー国際アニメーション映画祭に参加した際、PVの中で流れる水木一郎さんの歌に合わせ、会場のお客様が大会唱してくださるなど、現地での熱気を感じました。イタリアでは先日、予告編やローマ国際映画祭への参加に関する情報を現地興行主のFacebookで解禁したところ、72時間で150万回を超えるアクセスがあったということで嬉しい限りです。こうした海外での盛り上がりや、日本での公開へ向けて皆様に伝えられたらと考えています。

ローマ国際映画祭の様子

レッドカーペットでの様子

上映後、盛り上がるファンとの記念撮影



左より
ダイナミック企画
永井 一巨 プロデューサー
永井 豪 先生
当社 金丸 裕 プロデューサー

ファンから
サインを求められる
永井豪先生

Q4 見所について教えてください。

昭和47年から放映が始まり、世界中の沢山の少年たちの心に響いた「マジンガーZ」「グレートマジンガー」。今作はリメイクではなくTVシリーズの10年後の未来をオリジナルストーリーで描いています。ぜひ、兜甲児たちの10年後の物語を楽しみにしてください。最新技術で表現されるスーパーロボットのアクションシーンは大きな見所です。多彩なロボットデザインと必殺技はどれも魅力的です。絶対的なヒーローだった兜甲児が葛藤しながら成長して行く姿にもぜひ注目してもらいたいです。「マジンガーZ」はこれまでもこれからもずっと大人も子供も楽しめるエンターテインメント作品ですから。



平成29年度実施 株主さまアンケート結果のご報告

7月に実施いたしました株主さまアンケートに、数多くのご回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。ご返信をいただきました2,100名を超える株主さまの中から厳正なる抽選を行い、500名の皆様には「ワンピース」、「ドラゴンボール超」、「キラキラ☆プリキュアアラモード」の文具セットをご送付いたしました。

今回はアンケート結果のご報告として、皆様より頂戴したご意見の一部と担当者からのコメントをご紹介します。

アンケート回収状況

回答数 **2,138名**

株主数 **4,667名**※

※平成29年9月末時点

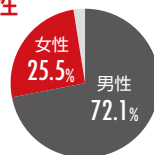
回収率

45.8%

ご回答者の属性

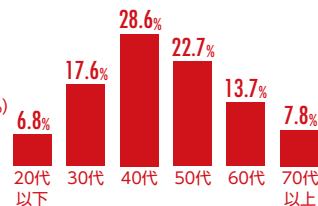
男女比

(無回答2.4%)



年代別

(無回答2.8%)



当社の株主優待(キャラクターQUOカード)について

額面以上の価値がある。(30代男性)

使用後も見て楽しめる。(40代女性)

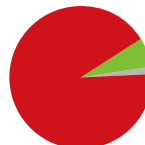
キャラQUOが欲しくて、株主がやめられない。(50代男性)

新・旧のアニメーションの作品があり、コレクション、宝物になってます。(20代女性)

最近のと昔のがあるのが良い。孫も私も満足!! (50代女性)

満足している

91.9%



満足していない

6.7%

(無回答 1.4%)

とても素晴らしいもので、いつも家族に取られてしまい、僕の手元に残らない。(40代男性)

オリジナリティがあり、かつ実用的であるから。(40代男性)

家族が喜ぶ。(70代以上女性)

他社との差別化が明確であるため。(30代男性)

決められたものでなく、複数の中から好きなものを選びたい。(30代女性)

ワンピースファンなのに、今回入っていないから。(60代女性)

担当者より

アンケートご協力をお願い

締切日：平成29年12月8日

ご回答いただきました方の中から抽選で**300名様**に「ワンピース」**2018年カレンダー**を進呈いたします。年内発送に間に合わせるため応募期間が大変短くなっておりましてご注意ください。当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



皆様からのご意見・ご質問

Q 海外での新しい取り組み等を知りたいです。

(30代女性)

A この冬、上海に中国初の「ワンピース」専用劇場「ONE PIECE LIVE STAGE」のオープンを予定しており、さらに11月に麦わらストアの台湾2号店を台中に出店予定です。特にアジアで大人気の「ワンピース」をきっかけに、事業の幅をより広げてまいります。

また、中国における事業をより拡大するため上海に現地法人を設立、ロサンゼルスの子会社もオフィスを拡大するなど、現地子会社の規模は着実に大きくなっています。



Q 利回りも優待も太っ腹でコチラが心配してしまうほどですが…大丈夫でしょうか!? これからも応援してます。無理はしないで下さい!! (40代男性)

A ご心配いただきありがとうございます。ほかにも多くの方から、当社従業員、特にアニメーターへの温かいお言葉・ご声援をいただきました。

当社では現在、残業時間の削減等の働き方改革に全社を挙げて取り組んでおります。業務の分散をはじめ具体的な施策を講じ、成果はすでに見え始めています。また新しい試みや成果に対する社長賞、業績貢献に対する特別賞与の授与等、従業員がより前向きに働けるような報奨制度もすでに導入されています。

業績・業容だけでなく、働く人々の意欲やワーク・ライフ・バランスにおいても業界をリードする存在を目指してまいります。

Q いつまでもキラキラの決算報告書を。

(60代女性)

A ありがとうございます。株主の皆様が必要とされる計数や情報を盛り込みながら、夢と希望を届けるアニメーション会社として、楽しみながらお読みいただける報告書を目指しております。

また、キラキラといえば「キラキラ☆プリキュアアラモード」ですが、平成28年3月期以降で最高となる売上を達成しており、キャラクターやストーリーも大変好評です。15周年を控え人気をさらに拡大中の「プリキュア」シリーズにご期待ください。



新作映画
10月28日より公開中!

Q IR説明会をもっと活発に! (60代男性)

A 当社は毎年夏に開催される「日経IR・投資フェア」に平成28年から出展を続けています。少しずつではありますが、投資家の方々との対話の積極化に取り組み始めています。

また、東京以外での説明会を希望されるご意見も数多くいただきました。現段階では未定ですが、株主の皆様により深く当社をご理解いただけるよう、さまざまな施策を検討したいと考えております。

株主優待のご案内

権利確定日：3月末日

株主優待オリジナルの

キャラクター
QUOカードを進呈

株主優待限定の描きおろしデザインを含む、人気の新作アニメ2枚、懐かしの名作アニメ2枚の計4枚が1セットです。

100株以上で

100株以上で 1セット 2,000円相当

500株以上で 2セット 4,000円相当

1,000株以上で 3セット 6,000円相当

5,000株以上で 5セット 10,000円相当

10,000株以上で 10セット 20,000円相当

1セット 2,000円相当

平成29年進呈のQUOカード



「キラキラ☆プリキュアアラモード」

毎週日曜日 朝8:30～
ABC・テレビ朝日系列にて放映中

「ドラゴンボール超」

毎週日曜日 朝9:00～
フジテレビほかにて放映中

「魔犬ライナー0011変身せよ！」

昭和47年7月16日公開作品



「ピュンピュン丸」

昭和42年7月3日～9月18日

トピックス

新・大泉スタジオが竣工しました！



新・大泉スタジオが
平成29年8月に竣工いたしました。
内装工事が終わった後に
光が丘スタジオから引越しを行い、
平成30年1月から稼動予定です。
スタジオの詳細については、
次号のペロステ以降で
特集予定なので、
ご期待ください。



会社情報

(平成 29年9月30日現在)

商号	東映アニメーション株式会社
英文社名	TOEI ANIMATION CO., LTD.
本社	〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパーク イースト5階 TEL: 03-5318-0678(代表)
従業員数	連結:687名 単体:433名
上場市場	JASDAQ(コード:4816)
ホームページ	http://www.toei-anim.co.jp

株主メモ

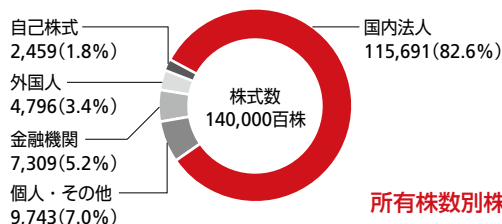
決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告いたします。
剰余金の配当	毎年3月31日現在の株主または登録株式 質権者にお支払いいたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務是三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 http://corp.toei-anim.co.jp

株式の状況

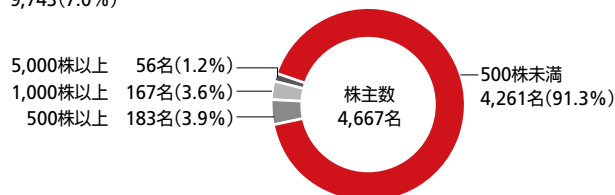
(平成 29年9月30日現在)

発行済み株式総数	14,000,000株
株主数	4,667名

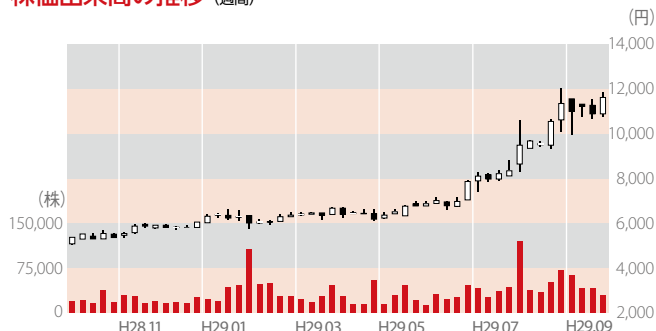
所有者別株式分布状況 (単位:百株)



所有株数別株主分布状況



株価出来高の推移 (週間)



お知らせ

■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

注目の
4
作品



「キラキラ☆プリキュアアラモード」

毎週日曜日 朝8:30～
ABC・テレビ朝日系列にて放映中

「ドラゴンボール超」

毎週日曜日 朝9:00～
フジテレビほかにて放映中



世界消滅の時、魔神現る。

「劇場版 マジンガー Z / INFINITY」

平成30年1月13日公開予定

「ワンピース」

毎週日曜日 朝9:30～
フジテレビほかにて放映中

©永井豪・ダイナミック企画・MZ製作委員会・2017 映画プリキュアドリームスターズ!製作委員会・本郷あきよし・KINOSHITA GROUP・武内直子・PNP・講談社・バードスタジオ・集英社・
[2015 ドラゴンボールZ]製作委員会・2016 映画プリキュアオールスターズSTMM製作委員会・車田正美・尾田栄一郎・フジテレビ・2017 映画キラキラ☆プリキュアアラモード製作委員会・
ABC-A・BANDAI NAMCO Entertainment Inc.・BANDAI・鳥山明・秦企画・東映・東映アニメーション
©developed by DeNA

免責事項

この報告書に記載しております当社および当社グループの計画や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、今後さまざまな要因の変化により異なる結果となることがあります。

本誌は、環境に配慮した森林認証紙および植物油インキを使用しています。

